

【会議録】

主 題 平成２９年度第２回つくばみらい市障がい者支援協議会

- 日 時：平成２９年１０月１９日（木）１０：０５～１１：４５
- 場 所：つくばみらい市役所伊奈庁舎 ３階 大会議室
- 出席委員：宮島孝明会長，飯村晴代副会長，岡野純子委員，大久保安雄委員，
遠藤光委員，間宮正孝委員，片山とよ子委員，本多めぐみ委員，
雨谷康弘委員，石澤昭博委員，荒井栄司委員，平間早英委員 以上１２名
- 欠席委員：竹内真理委員，鈴木恭子委員，安河内崇代委員 以上３名
- 事務局：社会福祉課 関課長，成嶋補佐（進行），塚田係長
（コンサルタント：（株）地域計画研究所 若山）
- 傍 聴 人：なし

- １．開会（午前１０時０５分）
- ２．委嘱状交付
市長より委嘱状を交付
- ３．市長あいさつ
市長あいさつの後，公務により退席
- ４．職員紹介
- ５．委員出席状況報告
委員１５名中，出席１２名，欠席３名
委員の過半数以上が出席により，会議が成立する
- ６．会長及び副会長の選出
会長に宮島孝明委員，副会長に飯村晴代委員が選出された
- ７．会長あいさつ
- ８．議事（会長が議長となる）
（１）第５期障がい福祉計画及び第１期障がい児福祉計画の策定について

【質疑等】

宮 島：居住系自立支援給付に関して。市内業者が少なく近隣市町村に頼っているという
ことだが，これに関して市はどう考えているのか。

事務局：居住系とは入所施設又はグループホームになるが，市内に入所施設はなく，
グループホームも１つしかない。よって，近隣市町村の事業所の力を借り，コ
ーディネートしている状況である。ただ，市内の複数の事業所から今後グルー
プホームを検討しているという話を頂いているので，市に相談に来られた際は
他の事業所についても積極的に情報提供をし，お願いしたいと話している。

飯 村：自立支援給付の相談支援について。見込みより利用者が少ないとあるが，少な
いわけではなく市に相談事業所がないのが現状。結果，近隣市町村に出向いて

いくことになる。障がい者の希望等を知るためには地元にあったほうがいい。
ぜひとも早急に相談事業所を、できれば社協あたりに設置して頂きたい。

事務局：その件で社協に話をしたという経緯は、以前に聞いたことがある。今後市内に
相談事業所が増えるよう、他の方向性も含めて少しでも働きかけていきたい。

（２）職員対応要領にかかる職員対応マニュアルについて

【質疑等】

岡 野：市のマニュアル案で一番気になったのが、障がい特性の書き方と、それを市の
職員がどのように理解するのかということ。昨日名古屋市のマニュアルを塚田
係長に紹介したが、障がい特性をどこまで具体的にするか。しかし一部しか書
かれていないという状況のものをまとめていくことに不安を感じた。特に精神
障がいの方に関しては、職員でも治療をしている人がいるのではないと思う
が、そういう人の目に触れる文言ではないのではないか。もう少し丁寧に書いて
欲しい。

事務局：私もいろいろな資料や他市町村のマニュアルを参考にして作成した。今回は具
体的な対応というところで１つの例を記載したが、名古屋市のマニュアルでは
もっと詳しく書かれている。もう少し充実した方が良いと思う。

岡 野：そのとおり希望したい。骨子案にもあったが、例えば聴覚障がいの方が手話通
訳士をお願いできるのと同じように、どの市役所の窓口においても障がい者を
サポート出来る人材がいてくれると良い。これが職員の教育的なマニュアル本
として配られるのであれば、市の職員教育の中に、もっと当事者の声が伝わる
ような研修会なり個別の勉強会なりがなされるのかどうか、少し疑問に感じる
のと同時に、活用して欲しいと希望するところである。

事務局：マニュアルについては皆さんのご意見を頂いた上で改良し、職員の研修も含め
利用していきたい。

大久保：職員教育のためのものとはいえ、文章だけで理解できるのか。配慮ある対応を
するためには、もう少しわかりやすい方が良いのではないかな。

宮 島：この冊子を全部読むのも大変。もっと簡素にわかるものがあれば良いのだが。

事務局：職員に周知をするにあたり、障がい特性について事細かに書いた方が良いのは
わかるが、情報量が多すぎても職員の頭に入っていないと推察したことから
簡略化した。ただご指摘があったように、障がい特性についてはデリケートな
部分もあるので、表記については名古屋市のマニュアルを参考にし、内容につ
いても精査したい。今後ともご意見お願いします。

宮 島：詳しく書いてもわかりにくくなり、なかなか難しい。今後課題としたい。

雨 谷：マニュアルの活用方法としては、職員に配布し、対応に困ったときに読み返す
ような形か。

事務局：配布ではなく、データとしての配信になると思う。普段障がいのある方と接し
ていない職員が“障がい”と聞いてイメージするのは、おそらく目に見える障

がいに偏ると思う。しかし実際はそうではなく、目に見えない障がいもあるということ、また障がいによってさまざまな特性があるということ、そしてそれぞれに応じた対応が必要であるということを研修すると同時に、日常の対応としてこのマニュアルを活用していきたいと考えている。

雨 谷：マニュアルの活用方法を含め、質疑応答も可能な研修の場を設けて伝えていくということか。

事務局：研修の詳細については市の人事担当と調整をしている段階。来年度には実際に研修が出来るよう進めていきたいと考えている。

(3)その他

【質疑等】

大久保：今後のスケジュールが出ているが、関係団体や市内事業者とのヒアリングは今後実施されるのか。

事務局：毎年1回、市内と近隣市町村の事業者とで情報交換会をしているので、その場を借りてご意見を頂戴したいと考えている。ご意見を頂くにあたり、具体的な数字が入っていた方がいいだろうということで、上半期の状況を見て今年度の実績見込みを出し、向こう3年の見込みを出していきたい。その数値目標の妥当性も含め、ご意見を頂きたいと考えている。

大久保：その場合、意見方法については次回の支援協議会の中で反映されるのか。

事務局：そうです。

9. その他

議 長：その他で何かありますか。他にご意見も無いことから、私の議長の職を解かせていただく。

10. 閉会（午前11時45分）

【配布資料】

- ① 会議次第
- ② 市障がい者支援協議会委員名簿
- ③ 市障がい者支援協議会要綱
- ④ 第5期障がい福祉計画及び第1期障がい児福祉計画骨子案
- ⑤ 第5期障がい福祉計画及び第1期障がい児福祉計画策定イメージ
- ⑥ 第5期障がい福祉計画及び第1期障がい児福祉計画スケジュール（中間）
- ⑦ 職員対応要領にかかる職員対応マニュアル
- ⑧ 障害福祉サービス H28年度実績（1ヶ月あたり）